

2025年全日本フォーミュラ・ライツ選手権菅生大会における当該統一規則の特別措置

※下線部分：変更箇所

菅生大会特別措置	2025年統一規則
第6条 参加車両 1. ～3. (略) 4. 本選手権競技会は、1大会1レース制、1大会2レース制、1大会3レース制、<u>1大会4レース制</u>または、1大会2ヒート制とする。 5. 本選手権競技会のレース距離は、下記の通りとする。 1) ～2) (略) 3) 1大会3レース制<u>または4レース制</u>の場合は、65km(65kmを超える最少周回数)のレースと最短90km～最長100kmのレース、およびそのいずれかの距離のレースとし、それらを2日に分けて設定すること。 4) ～5) (略) 6. ～9. (略) 第23条 タイヤ 1. (略) 2. プラクティスセッション開始から最終の決勝レースが終了するまでの間に車両 1台あたりに使用できる溝なしタイヤ(以下、「ドライタイヤ」という)、および 溝付きタイヤ(以下「ウェットタイヤ」という)は、当該大会の開催レース数<u>が3以下の場合には夫々最大3セット(前輪6本、後輪6本)とし、1大会4レース制の場合には夫々最大4セット(前輪8本、後輪8本)とする。</u> また、タイヤ供給メーカーからの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合、マーキングを受けたタイヤを別のタイヤへ交換することが許される。 3. ～4. (略)	第6条 参加車両 1. ～3. (略) 4. 本選手権競技会は、1大会1レース制、1大会2レース制、1大会3レース制または、1大会2ヒート制とする。 5. 本選手権競技会のレース距離は、下記の通りとする。 1) ～2) (略) 3) 1大会3レース制の場合は、65km(65kmを超える最少周回数)のレースと最短90km～最長100kmのレース、およびそのいずれかの距離のレースとし、それらを2日に分けて設定すること。 4) ～5) (略) 6. ～9. (略) 第23条 タイヤ 1. (略) 2. プラクティスセッション開始から最終の決勝レースが終了するまでの間に車両 1台あたりに使用できる溝なしタイヤ(以下、「ドライタイヤ」という)、および 溝付きタイヤ(以下「ウェットタイヤ」という)は、当該大会の開催レース数にかかわらず夫々最大3セット(前輪6本、後輪6本)とする。 また、タイヤ供給メーカーからの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合、マーキングを受けたタイヤを別のタイヤへ交換することが許される。 3. ～4. (略)

第27条 プラクティスセッション（公式予選等）

1. 1大会1レース制の場合、プラクティスセッションは、最少30分の「公式練習」と、その後2時間30分以上の間隔をおいて行われる20分～30分の「公式予選」夫々1回ずつで構成される。

1大会2レース制の場合、次の何れかの方法が競技会特別規則に明記される。

- 1) 10分の公式予選が2回行われる。その2回の公式予選は、10分のインターバルをはさんで連続して行われるものとする。この場合、各々の公式予選で利用できるタイヤは最大1セット（前輪2本、後輪2本）ずつとし、かつ各々の公式予選で異なるタイヤを使用しなければならない。

- 2) 30分の公式予選が1回行われる。

1大会3レース制または4レース制の場合、公式予選の方式は当該競技会特別規則に記される。

なお、天候等の不可抗力の場合は、競技会審査委員会の決定によるものとする。

2. ～9.（略）

第29条 スターティンググリッド

1. ～5.（略）

6. 1大会2レース制の場合、第27条1.に基づき以下の通りとする。

- 1) 10分の公式予選が2回行われた場合：1回目の公式予選結果を第1レースのグリッドとし、2回目の公式予選結果を第2レースのグリッドとする。

- 2) 30分の公式予選が1回行われた場合：夫々の競技車両が記録した最速タイムを第1レースのグリッドとし、夫々の競技車両が記録した2番目のタイムを第2レースのグリッドとする。

1大会3レース制または4レース制の場合、グリッドの決定方法は当該競技会特別規則に記される。

第27条 プラクティスセッション（公式予選等）

1. 1大会1レース制の場合、プラクティスセッションは、最少30分の「公式練習」と、その後2時間30分以上の間隔をおいて行われる20分～30分の「公式予選」夫々1回ずつで構成される。

1大会2レース制の場合、次の何れかの方法が競技会特別規則に明記される。

- 1) 10分の公式予選が2回行われる。その2回の公式予選は、10分のインターバルをはさんで連続して行われるものとする。この場合、各々の公式予選で利用できるタイヤは最大1セット（前輪2本、後輪2本）ずつとし、かつ各々の公式予選で異なるタイヤを使用しなければならない。

- 2) 30分の公式予選が1回行われる。

1大会3レース制の場合、公式予選の方式は当該競技会特別規則に記される。

なお、天候等の不可抗力の場合は、競技会審査委員会の決定によるものとする。

2. ～9.（略）

第29条 スターティンググリッド

1. ～5.（略）

6. 1大会2レース制の場合、第27条1.に基づき以下の通りとする。

- 1) 10分の公式予選が2回行われた場合：1回目の公式予選結果を第1レースのグリッドとし、2回目の公式予選結果を第2レースのグリッドとする。

- 2) 30分の公式予選が1回行われた場合：夫々の競技車両が記録した最速タイムを第1レースのグリッドとし、夫々の競技車両が記録した2番目のタイムを第2レースのグリッドとする。

1大会3レース制の場合、グリッドの決定方法は当該競技会特別規則に記される。

各レースのポールポジションは上記により配列された車両において最速タイムを記録したドライバーに与えられ、当該ドライバーはそれ以外のポジションを選択することはできない。 7. (略) 以上	各レースのポールポジションは上記により配列された車両において最速タイムを記録したドライバーに与えられ、当該ドライバーはそれ以外のポジションを選択することはできない。 7. (略) 以上
---	---